

2014年3月9日(日)、山スキーネットの交流山行が行われました。コースは神楽ヶ峰から雁ヶ峰へのツアーコースです。山スキーで神楽というと定番すぎるためか、今年は他の会からの参加はありませんでした。

快晴の天気のもと、かぐらスキー場のリフトに乗りこみます。山頂の第5リフトは長蛇の列で、降り立ったゲレンデトップでは結構な数のBCスキーヤーが入山準備をしていました。中尾根のジャンクションピークまでは既に幾筋ものトレースが刻まれており、比較的空いているトレースを拝借してピークまでひと登り。稜線に出ると、苗場山の迫力のある姿が背後に望まれました。西には鳥甲山の鋭鋒が印象的です。ジャンクションピークから霧ノ塔手前の2010mピークの取り付けまでは小さなアップダウンが続きます。2010mピークの登りはかなりの急登で、雪底に注意しながら登り、苦勞しながらも全員頂上に到着しました。

頂上で360°の大展望を楽しみながら昼食休憩を取った後、眼下の雁ヶ峰の雪原に向けて1本目の滑降です。雪はやや重めながらも気持ちの良い滑降を楽しみました。200m程滑降したところで、この先雁ヶ峰までは斜度が緩やかで数日前までの新雪で長い下りラッセルになること必至のため、霧ノ塔に登り返しての周辺滑降に計画変更としました。

霧ノ塔からは東面をひと滑り。再びシールを着けて2010mピークをトラバースして中尾根に合流する斜面に出ました。ここから沢を滑っていけばかぐらスキー場のゲレンデです。最後の1本は日射で雪がサンクラストしていて我慢の滑りでした。

好天に恵まれ、楽しい山行でした。来年はまた他の会の方も参加していただけるよう、コースを検討していきたいと思います。



2010mピークより滑降



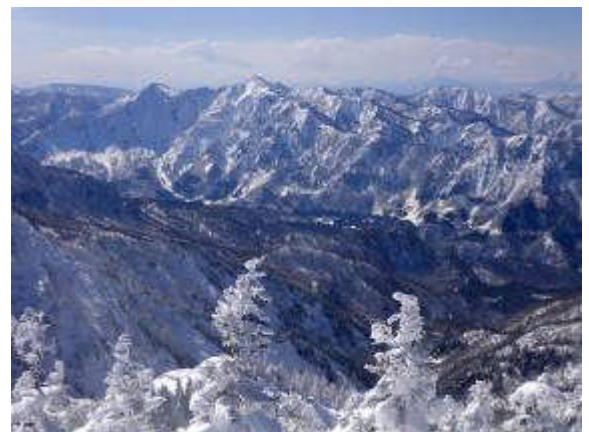
霧ノ塔山頂にて



霧ノ塔東面を滑る



苗場山



鳥甲山